

こんな事業です!

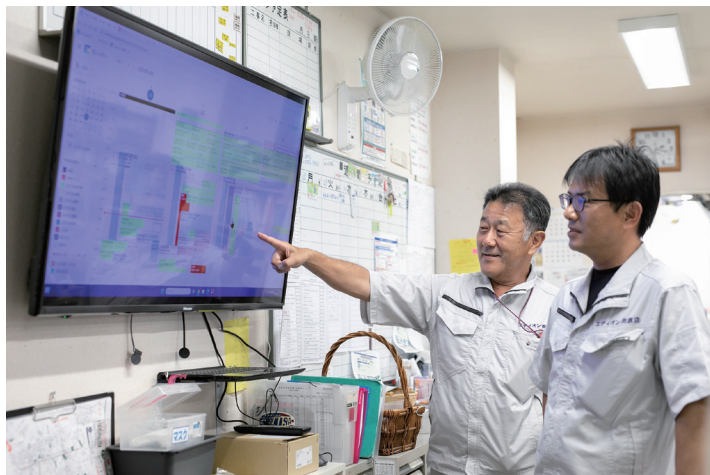


エディオンのフランチャイズとして、家電などを販売する町の電気屋さん。創業当初からそれだけにとどまらず、リフォーム、鳥獣対策用の柵の設置など、広がるニーズに応じて新しいサービスを提供し続けている。決して「できない」とは言わない、地域の人々のライフラインを担う頼れる存在。

一人ひとりと向き合い 大切にすることも継承

一方、正雄さんも決算書の見方を学ぶセミナーに参加したり、HPをリニューアルしたりしながら着々と準備を進めてきました。こうして、2020年無事に事業を継承。現在は慎二さんが正雄さんをサポートしながら、以前と変わらぬメンバーで業務にあたっています。正雄さんは、「事業承継する前から法人会や商工会青年部に所

モニターには、誰がどの現場にいついるのかが分かるスケジュールが映し出されています。情報を共有できるようになり、業務がスムーズになりました



属したり、消防団に入ったり、様々な活動を通して、事業を守る責任

感じたいものが生まれていました。心の準備がしっかりとできていたので、安心して引き継ぐことができました」と話します。**これからの目標は、これまで先代が築き上げてきた信頼をこれから先もずっと守っていくこと。**人口が減り、高齢化が進む中、量販店との差別化を図るにはこの道しかないと考えています。「時代の変化とともに変わっていく

ニーズにも応えるためには、法改正の勉強や新しい資格の取得が不可欠。依頼があれば、新しいことにも積極的にチャレンジしていきたい」と前を向きます。仕事柄、急な案件が多く、とにかく一日が目まぐるしく過ぎていく正雄さん。それでも、「一人ひ

とりのお客さまと向き合うことを

大切にしたい」と創業以来大切に

してきた想いまでも、しっかりと

受け継いでいました。

守るもの、進化するもの

その両方を大切に

正雄さんが代表取締役になって、新たに作り組んだことがあります。それは社内業務のDX(デジタル

トランスフォーメーション)化。DXとは、アナログ業務をデジタル技術を使って効率化、スマート化していくというもの。正雄さんは社員のスケジュールが共有できる

システムを導入し、現場の場所や

進捗を確認できるようにしました。

状況の把握がすぐにでき、業務の

効率化に繋がっています。今後も

さらなるDX化を進めていく予定。

こうした取り組みを慎二さんも頼

もしく感じていきます。「お客さまの

ニーズに応えるために、私たちが

アップデートしていく必要があります。

移り変わるニーズに敏感に

反応しながら、高齢者の方、若いフ

アミリー層、どんな方にも頼られ

る電気屋をこれからも目指してい

きます」と正雄さんは話しました。

託した人
佐々木慎二さん



Profile

安芸高田市出身。呉工業高等専門学校電気科に進学し、広島大学の工学部に編入。卒業後は広島FMに就職し3年後、家業の佐々木電機に就職。平成9年に社長に就任し、会社を任される。